

再評価結果（平成24年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道4号 <small>つちや</small> 土屋バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：青森県 <small>あおもり</small> 東津軽郡 <small>ひがしつがる</small> 平内町 <small>ひらない</small> 大字 <small>なかの</small> 中野 至：青森県 <small>あおもり</small> 青森市 <small>あおもり</small> 大字 <small>あさむし</small> 浅虫	延長	4.2 km		
事業概要					
<p>一般国道4号は、東京都中央区と青森県青森市を結び、広域交流に支援及び沿線市町村の連携強化を図る幹線道路である。</p> <p>土屋バイパスは、平内町や青森市内における国道4号の隘路区間の解消による安全性の確保、緊急輸送路の信頼性の向上等を目的としている。</p>					
S60年度事業化		S62年度都市計画決定		H4年度用地着手	
S62年度都市計画決定		H4年度用地着手		H9年度工事着手	
全体事業費	170億円	事業進捗率	81%	供用済延長	4.2 km
計画交通量	14,700台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年	
	(事業全体) 1.2 (残事業) 2.4	(残事業)/事業全体 49億円/219億円 事業費：27億円/197億円 維持管理費：23億円/23億円	(残事業)/事業全体 120億円/264億円 走行時間短縮便益：115億円/239億円 走行経費減少便益：2億円/17億円 交通事故減少便益：3億円/7億円	平成23年	
感度分析の結果					
残事業について感度分析を実施					
【全体事業】 交通量変動：B/C=1.0~1.3(交通量 ±10%) 【残事業】 B/C=2.2~2.7(交通量 ±10%)					
事業費変動：B/C=1.2~1.2(事業費 ±10%) B/C=2.3~2.6(事業費 ±10%)					
事業期間変動：B/C=1.2~1.3(事業期間 ±20%) B/C=2.4~2.5(事業期間 ±20%)					
事業の効果等					
<ul style="list-style-type: none"> 物流効率化の支援 (重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる) 国土・地域ネットワークの構築 (隣接した日常生活圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成) 他13項目に該当 					
関係する地方公共団体等の意見					
○青森県知事の意見					
<ul style="list-style-type: none"> 県民が安全に、そして安心して暮らすために早期整備をお願いします。 事業の執行にあたっては、引き続き、なお一層のコスト縮減に努めて頂きますようお願いいたします。 					
○以下の団体等から、土屋バイパスの整備促進について要望あり					
<ul style="list-style-type: none"> 青森県（青森県知事、青森県議会議長） 青森町村会 青森地区国道協議会（青森市 他9市、21町、6村） 					
事業評価監視委員会の意見					
<ul style="list-style-type: none"> 対応方針（案）どおり「継続」が妥当である 					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<ul style="list-style-type: none"> この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。 					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
<ul style="list-style-type: none"> 事業進捗率81%（うち用地進捗率99%） 					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
<ul style="list-style-type: none"> 事業の進捗に係る問題はない。 					
施設の構造や工法の変更等					
<ul style="list-style-type: none"> 経済的な長尺プレキャスト製品等の採用による工期短縮等によりコスト縮減を図る。 					
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				

